

Cente Technical Information

発行番号	001-0039	Rev	第1版	発行日	2012/07/05
題名	FTPCでsystemコマンドの実行結果に不要な文字列が付加されてしまう				
情報分類	障害情報				
適用製品	•Cente TCP/IPv4 Ver.1.21 – Ver.1.33 •Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.2.10 – Ver.2.13 •Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.2.10 – Ver.2.13 •Cente IPv6 Ver.1.30 – Ver.1.43 •Cente IPv6 SNMPv2 Ver.2.10 – Ver.2.13 •Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.10 – Ver.2.13				
関連資料	なし				
【該当するユーザ環境】 FTPCを使用してsystemコマンドを実行するユーザ。それ以外のコマンドは該当しません。 【障害内容】 FTPCで、システムの種別を取得するsystemコマンドを実行した際、ユーザバッファに格納される実行結果(文字列)の後ろに不要な文字列が付加されてしまいます。 【発生理由】 systemコマンドの実行結果のパースで、応答コード215を読み飛ばす処理があります。読み飛ばした分だけ文字列長を短くする必要がありますが、この処理がありませんでした。 【回避方法】 ソースコードを修正し、systemコマンドの実行結果のパースを正しく動作するようにする必要があります。 (改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。) 以上					